

組織部速報

2016年11月1日

No. 24

2016年度年末手当第3回交渉

中間決算は、鉄道事業の営業利益も、経常利益も昨年を上回る!!

昨27年度中間決算

28年度中間決算

鉄道事業
営業利益

-17億円

5億円改善!!

-12億円

経常利益

19億円

10億円改善!!

29億円

「相次ぐ災害の中で、昨年を上回る成績を残したのは、サポートや代替輸送を担った組合員がいるからだ!」

～要求の根拠～

- ①夏季手当ではやっと最低限の1.5カ月まで来た。これまでの努力の結果、黒字化に手が届くところまで来た。組合員の年末手当に対する期待は大きい。
- ②熊本地震や台風被害の中で組合員は、荷主の要望に応えるために代替輸送の手配や支社間サポートを担ってきた。組合員の努力に形で応えること。
- ③上半期の自然災害は一企業で乗り越えるべき範囲を超えている中で、年度末に向けての計画達成に向けては組合員の協力は不可欠である。会社は労使で乗り越えるために、決意と姿勢を満額回答で示すべきである。
- ④収入確保は経営責任。輪転資材不足、収入確保に尽力している営業支店をはじめとした、各職場の欠員対策は会社の責任である。労に報いることと、コスト削減を人件費削減に転嫁することは許さない。

(詳細は交渉速報No.5を参照してください!!)